



公民館活動から ～住みよいまちづくりを ともに考えよう～

公民館のはじまり

公民館の設置が始まったのは、今から60年くらい前のことです。戦後、焦土と化した日本を再建するため、国民、特に大人たちが自覚を持って自分の考えで行動できるように、豊かな文化教養を身につけるための大人の教育・学習の場として、全国へと広がっていきました。

戦後、地域の復興と地域住民の暮らしを支え、地域文化の振興に大きく貢献してきた公民館は、時代とともに、その役割を生涯学習の拠点として大きく発展させてきました。

現在、全国には約18,000の公民館がありますが、全国の小学校が約24,000校、中学校が約10,000校、図書館が約2,800館、交番が約6,400ヶ所であることを考えると、公民館がいかに

地域に密着した施設であるかが分かります。

公民館の特徴

公民館では、さまざまな教室・講座・同好会が開設されています。

公民館以外にも同様の講座等を行っている施設はありますが、公民館で受講することのメリットは、

第一に、参加している人同士の関わりです。公民館では、グループ学習など集団でコミュニケーションをとりながら学習するため、周りの人から刺激を受けたり、励ましあったりすることができます。

第二に、学習したことの地域へ還元です。学びを通して得たものを、個人だけでなく、地域や地域の人たちに還元することで、地域の文化や社会を築く原動力となり、まちづくりに役立てることができま

第三に、主体的に学ぶ姿勢の尊重です。公民館で開催する講座は、自らの「学びたい」という意思を大切にします。自分たちで考え、自分たちで地域をつくっていく姿勢を育むことが重要な役割の一つなのです。

公民館の役割

このような公民館の特徴をまとめると、次のような役割があります。

①つどう…人が集まる役割を担います。公民館では、場所を提供するだけでなく、人と人が集う機会を提供します。

②まなぶ…知識・教養に終わらせるのではなく、自分とのかかわりの中で、生活向きであった学びを提供します。

③むすぶ…人と人、人とグループを結びます。地域に住む人の持ち味や能力、得意分野を生かしてつなぎ合わせます。また、グループの活動を地域に生かしたり、輪を広げたりします。

④つくる…地域に住む人が自分づくりとまちづくりを進めていくきっかけを作るお手伝いをします。

⑤さがす…自分探しや地域の再発見のお手伝いをします。また、地域の情報を提供します。

公民館は、地域のみなさんが、学習・文化・スポーツ活動を通して、心のふれ合いを深める場です。いろいろな交流の中から、より充実した生活とより豊かな地域をつくりだすことが大切ではないでしょうか。

市内には13の公民館があり、それぞれの公民館では、地域の特徴豊かな活動が展開されています。こうした地域住民の活動を通して、誰もが住みよいまちづくりをともに考えていきましょう。

